

# ヤクカナワラビ

[シダ] 《中間》



頂羽片は側羽片と同型。



孢子囊群は縁近くにある。

## 区別のポイント

2回羽状複生。下部の羽片の下側第一小羽片が長く全裂する。最下羽片のものが著しく長い。明らかな頂羽片があり側羽片と同型。

**形態** 常緑性のシダ植物。

**分布** 四国・九州・沖縄

## 名前の由来

**葉** **〈全体〉**葉身は卵状楕円形で長さ 35 ~ 45 cm、2回羽状複生。葉質は革状草質、鮮緑色で無毛。**〈葉柄〉**長さは葉身と同じくらい。鱗片は根茎には密に付くが、葉柄には少ない。**〈羽片〉**側羽片は5~10対で、明らかな頂羽片は側羽片と同型。最下羽片の下側第一小羽片は羽状に全裂することもある。小羽片は長楕円形、鋭頭からやや鈍頭、基部は前側が切形・後ろ側はくさび形。辺縁は先が刺になる鋸歯がある。

**備考** 3では中。

**出典** 3, 14